

新約聖書馬可傳

全

新約聖書卷之二

馬可傳福音書

第一章

神の子耶穌キリシトの福音のくどめ預言者のある
されしごとく觀哉汝の面前よりぶ使をつくる
んこと汝の前方ちと設け野よりづる人のこゑあり
て主の道筋と用意してそのうちを正直よせよ
となりてヨハ子野よりて洗禮し罪をゆるさる
ため悔改するの洗禮と言ひろめしユダヤ國中お

よびエルソルモンの人々をばなれりおのゝその
 罪と白狀してヨルダ子といふ河をて洗禮と受けし
 六ヨハン子人駱駝の毛衣と着腰は皮の帶とむきび蝗
 と野蜜と食を言ひめりてしひけりハ我よりすなれ
 ころもの我の後よりよりべー我ハ屈めてその草履
 の紐とくもたざるやどの人なりハ水ハ
 て汝らと洗禮やーがその人ハ聖靈をて汝らと洗禮
 せべーそのころ耶穌ガリラヤのナザレより
 てヨルダ子といひてヨハン子の洗禮と受けりたる

ちよ水よりあづきよき天のひらけて聖霊鳩のか
ちよてその身のうへよりさるごとくしき聲天よりあ
きて汝ら^{なんぢ}もあづきよかなふるものぞ愛子^{あいこ}なりとぞ^し
してさづちよ聖霊耶穌と野よりいのしむ四十日野
居サタナよりちよれ獸とよふなりまき天の使
ちよしはつりヨハ子囚られのち耶穌ガリラヤ
いしり神の國の福音といひひろめて刻限を満し神
の國ハちよ^{なんぢ}汝ら^{なんぢ}もあづきよめて福音を信ぜよ
ちよ^よ耶穌ガリラヤの潮のちよりとあひむき

シモンとその兄弟のアンデレヤがみづうみ網を
 みるそれうみハ漁者なればなり耶穌モも
 ひけふされよきこひされ我汝らと人ひととをさむら
 ものよなむ——大なむちよその網とさむらふれよき
 ぶり丸いさよりず——さむみいさゝにゼベダイの子
 ヤコブその兄弟のヨハ子と舟ふねよあつて網とつくろふ
 とそそキたぐちふれらどび——大バその父ゼベダイと傭
 人ひととさふ舟ふねよちよそそきさひけり彼ら
 カペナオムより——大バ耶穌キリストがちよ安息日えんそくいちよ會あひ

堂よりてとてなむ人ぐそのとてなむ
とあつらんとなれバ權威とある人のとて人ぐと
とて學者のぶとあるとあつたなりその會堂よとて
惡鬼よとつれる人さみんでいけるハ憶ナザレの耶
穌かこゝろにたつてなむとてやれとる人げん
とてとてやれ汝ハ誰なるとあるとあるも神の聖
なるものなり耶穌とてとてめていけるハ黙止とて
とてあれバ惡鬼その人といひけるハ大聲よとて
かれといふとて人ぐとてなむとていふとて論とて

第一章

いふなれは、われは、そのまゝに、なれは、なり。耶穌ガリラヤ

國中と經め、その會堂（イサヤ）と、且鬼（イサヤ）とおひ

らぬ。癩病（イサヤ）のもの一人かれは、まゝに、願（イサヤ）ふ

て、いひけるは、主（イサヤ）の御心（イサヤ）よ、かなむと、なれは、なり。

なまじり。耶穌あられと、手（イサヤ）の、なれは、なり。

いひけるは、まゝに、清（イサヤ）くなれと、なれは、なり。

まゝに、癩病（イサヤ）と、あれて、その人（イサヤ）は、なれは、なり。耶穌

いふは、まゝに、なれは、なり。いひけるは、なれは、なり。

人（イサヤ）は、まゝに、なれは、なり。自身（イサヤ）と、祭司（イサヤ）と、なれは、なり。

門内よりくさくさ場處もなまぐさぐさにいひまゐり
耶穌れふふとこのべへぐ癱瘋とやまゐるものと
四人よりかたがせ耶穌ふさぐさへ群集よりつて耶穌より
ちやうちやうちひきまわれの居ところの屋蓋とくぐり
あけて癱瘋の人を卧床のまうつちまへへり耶穌そ
の信ぜるとしてちやうぶの人よりひけるハ子よなんぢの
つゝんゆゑもつゝ學者が數人ゝふ座へ居りて心中
よりひける人ハやく惡口とらや神よあ
らさればれ、罪とゆるしうぐさやと耶穌よりちよ彼ら

が心中^{ちゆうちゆう}の論^{ろん}どとていへば
あてまらぬいけり汝^{なんぢ}らなんぞ心中^{ちゆうちゆう}より
論^{ろん}どや癲^{てん}癪^{しやく}の人^{ひと}は汝^{なんぢ}のつとめをわれよりいふ
はめとて汝^{なんぢ}の卧^ね床^{とこ}よりいひてゆりていふは
やされども人^{ひと}の子^こ地^ちに居^ゐてつとめをゆりしもの權^{けん}威^いと
こそと汝^{なんぢ}らふとていふとて癲^{てん}癪^{しやく}の人^{ひと}はいふ
こそ汝^{なんぢ}らふとて卧^ね床^{とこ}より家^{いへ}よりいふは
その人^{ひと}らもあて卧^ね床^{とこ}よりいひて人^{ひと}のつとめを
いふはあていふは神^{かみ}とめをいひていふは我^{われ}ら

曾てかゝることをせしむるに
 人々を教へしめしむるに
 アルパヨの子レウヒ税貢をせしむるに坐する
 としてこれより人々を教へしめしむるに
 してイエス其の家より出て膳を
 くの貢吏と罪ある人もイエスとその門徒とも膳を
 してこれより人々を教へしめしむるに
 ものなり學者とパリサイの人々もこれより人々を
 びしめる人々も食するとしてそのでしめしむるに

耶穌のうつぎより罪ある人ともふ食飲するハ何れぞや
耶穌まうつてまゝにうつけるハ康健なるめのハ醫者いしやがうつ
うつて病あるめのふいふ義よし人ともやねくゝある
うつて罪ある人と悔改かへたせんふめなり大ヨハンの
でしハリサイの人ハ断食する例ありければうつ耶穌
うつてうつけるハヨハンのでしハリサイの人ハ断食
うつて汝の門徒断食するハ何ゆゑぞや耶穌イエスれら
うつけるハ新娶者ともふと問とその友がら断食と
うつてうつけるハ問断食すること能よ

[illegible]

めいり^四バリスアイの人^{ひと}をよひたるハミヤに安^{あん}
息日^{きふち}よおしてなまそくをゆるぎなきや^五耶穌
ダビデのころハダビデのころとて^{うほ}飲^{うほ}
みたりしとき^{とき}讀^{よみ}むかひも^も祭司^{さいし}のとき
アビ^あタルのとき^{とき}神殿^{かみでん}より祭司^{さいし}のころ食^{くら}ふべし
るそなりける蒸餅^{じやうへい}とたぐさしそのともにあるものよあり
し^モかれらふいひたるハ安息日^{あんきふち}ハ人のいふは設^{はり}られて
人^{ひと}安息日^{あんきふち}のいふはさうけられふあざれ^{あざ}バ人^{ひと}の子
ハ安息日^{あんきふち}よえつても主^もなるなり

第三章

耶穌イエスもも會堂カイドウよりより出る人ひとあり或ある耶穌と
 訟もとめん人ひとといひける起おこててある人ひともも安息日アノクニとと瘡かさももややととなりなり耶穌手
 なる人ひとといひける起おこててある人ひともも安息日アノクニとと瘡かさももややととなりなり耶穌手
 安息日アノクニとと善よきとななりや惡わるとななりやままいい生なるるとといいて
 くるややといいててある人ひともも安息日アノクニとと瘡かさももややととなりなり耶穌手
 そのころの頑固コンコあるとと怒おこれれとといいててある人ひともも安息日アノクニとと瘡かさももややととなりなり耶穌手
 ままいいててある人ひともも安息日アノクニとと瘡かさももややととなりなり耶穌手
 彼のころの頑固コンコあるとと怒おこれれとといいててある人ひともも安息日アノクニとと瘡かさももややととなりなり耶穌手

ちよハリサイの人とヘロデのさふが、さうさふ
くや耶穌とらうさふとあひくらねるさへん耶
穌そのでとらふ海へさうさうにさうの
へぐガリラヤよりさうさうさうユダヤ、エロ
ソルモンイトマヤヨルダ子のあへさへんタイロー
シトシの邊よりへぐ耶穌のなや、さうさうて
おびさうく群集してかきさうさうの群
集よりてさうなやされぬなめふ耶穌小舟と
なへく、その門徒よりさうさうの

人ぐと愈^やさ^さゆるき^きは^はさ^さぐて^て病^{やま}める人ぐと手^てて
 撫^さ附^くら^らへ^へて^てかな^{かな}い^いや^やま^まる^るゆ^ゆゑ^ゑなり^{なり}や^やい^い惡^{あく}鬼^{おに}彼^{かれ}
 と^とら^らへ^へて^てさ^さの^のま^まに^にさ^さか^かし^して^てあ^あな^ない^いと
 神^{かみ}の子^こなり^{なり}と^とら^らへ^へて^て耶^や穌^そと^とあ^あは^はれ^れと^とな^なり
 し^しと^とい^いひ^ひく^く彼^{かれ}ら^らを^をと^とら^らへ^へて^てさ^さと^と山^{やま}の^のあ^あり^りて
 ら^らの^のま^まに^にさ^さの^のま^まに^にさ^さか^かし^して^てあ^あな^ない^いと
 教^{しゆ}との^のま^まに^にさ^さの^のま^まに^にさ^さか^かし^して^てあ^あな^ない^いと
 病^{やま}と^とい^いひ^ひく^く鬼^{おに}と^とあ^あは^はれ^れと^とな^なり
 と^と立^たて^てら^らへ^へて^てモ^もン^んと^とテ^てロ^ろと^とな^なり^りて^てま^まに^にさ^さの^のま^まに^にさ^さか^かし^して^てあ^あな^ない^いと
 十二^{じふに}人^{にん}

ヤニブとヤコブの兄弟ヨハニ子れらとホアニ子ルゲ
となびてゐる譯て雷の子とらふまいアインデ
レヤビリボバルトロマタヨトマアルバヨの子ヤコブ
タダヨカナのシモイスカリオテのユダられ
くそなちち耶穌とていふものなりこれら家
へは食ひとるやふになつて人ぐさゝゝゝ集
その親屬とてかゝり狂氣なりとらひてゝへん
とそゞろエロソルモンよりくる學者の
けらるゝブルバブルといふものゝ鬼のやうな

して思^{おも}ひつゝさなり^三 耶穌^{イエス}られとふん^三でた^三
 といふ^三サタナといふ^三サタナといふ^三
 といふ^三國^{くに}といふ^三國^{くに}といふ^三
 といふ^三家^{いえ}といふ^三家^{いえ}といふ^三サタナ
 といふ^三彼^{かれ}といふ^三終^{はつ}
 といふ^三強^{つよ}勇者^{ゆう}の家^{いえ}といふ^三その
 道具^{どうぐ}といふ^三先^{まづ}といふ^三縛^{あや}られ^三
 といふ^三縛^{あや}て^三のらに^三その家^{いえ}といふ^三
 といふ^三罪^{つみ}と惡^{あく}ロハ^三といふ^三我^{われ}

いさゝかづー^元ちうなづー^元聖靈と惡口とめめハ
まづもいさゝかづー^元却て永久罪せらるめめなり
耶穌と惡鬼と取つれらるゝとゞなづらるゝ兄弟
と母ととゞり戶外と立人とつらゝて耶穌ととゞる
らるゝちやくの人と耶穌ととりまゝと坐せらるゝ
いひけるハ視哉汝の母と兄弟とふて汝ととゞる耶
穌ととゞるゝとゞるゝいひけるハ母と我兄弟ハこれや
ちうりに坐せらるゝと見やとゞるゝいひけるハとゞる
母ととゞる兄弟ととゞる^五神の旨ととゞるゝめめハこれ

兄弟^{イマ}が姉妹^{イマ}が母^{ハハ}なり

第四章

耶穌^{イソ}が海^{ウミ}へよおして教^シとくどめよおろくの人^{ヒト}を

船^{フネ}にあづかりしを彼^{カノ}舟^{フネ}よのりて坐^カしけし大勢^{オホセウ}

の人^{ヒト}が海^{ウミ}の邊^{ヘリ}へよおしてありし彼^{カノ}人^{ヒト}のこゝを

たゞとめてかゝるは教^シていひけるハ聽^{ミナ}哉種^{タネ}蒔^{マキ}がま

にまゐるは路^{ミチ}のりよりみもち

しきよの鳥^{トリ}をひいていふはまゐるは土^{ツチ}

うをむるは石^{イシ}はよらしが土^{ツチ}をいふはちよるえ

三

[illegible]

うける^まされざる自身は根なきゆゑ一時^{とき}の
もの^{もの}で後^{あと}よりのため難儀^{がた}あるひにうめ
らうと云ふ^{いふ}ちよ狼狽^{ろうたい}のなりたる^{なり}の棘^{いばら}のな
うと云ふ^{いふ}ものなり^{なり}は教と云ふものなり^{なり}
うたうこの世の辛勞^{しんろう}と貨財^{かざい}のまじり^{まじり}の
もの^{もの}の欲心^{よくしん}なり^{なり}と教と云ふ^{いふ}實^{じつ}は^は
ものなり^{なり}人教^{じんぎょう}と云ふ^{いふ}ものなり^{なり}に三十
倍^{えい}あるひに十倍あるひに百倍の實^{じつ}は^はもの
なり^{なり}地^ちは^はものなり^{なり}と云ふ^{いふ}彼^{かれ}ら^らなり^{なり}

[illegible]

野菜の身はあつたやうに
 聞くにやうなやうに
 教へられたやうに
 耶穌の門徒あつたやうに
 日の下で
 耶穌の舟に
 舟に

ふありー 風おろり浪うちんで舟
は殆どり耶穌舟のこゝに枕してゐるーが
門徒の目とさうしてひける師平の
おづーともひなるぞう 耶穌さくら
おづー風といふめさ海だれおづー
とといひたれ風やそおひなるなぞう
耶穌さくらひけるなんぞかおづー
や汝らなんぞ信なまや 風と海さくら
それたぐひよひける風と海さくら

晝^{ひる}夜^や山^{やま}と墓^{はか}へりておいてふりていふに石^{いし}とつてあ
まの身^みとてけりけりその人^{ひと}をいふに耶穌^{イエス}と見え
りてそれと拜^{かへ}し大聲^{おほいこゑ}をいひていひていひて
いふに神^{かみ}の子耶穌^{イエス}とあひていふにいふにいふに
いふにいふにいと神^{かみ}と誓^{ちか}ひていふにいと
いふにいと耶穌^{イエス}といふに惡^{あく}鬼^{おに}と人^{ひと}より
いふにいとけりけりバカ^{バカ}なり耶穌^{イエス}れは汝^{なんぢ}の名^なはなま
まといふにいと大勢^{おほいぜい}あるといふにいと
名^なにギヨ^{ギヨ}といふにいといふにいと土地^ちよりいふにいと

ありつゝなれと耶穌よ救ひて下さる
 山のちうよ飼ふる豚の大むれありてその惡鬼れ
 よなひていひてと豚よ入らせしより耶穌
 ちうよいひていひて惡鬼ゆゑて豚よ入
 がいよそ二千びづりの群ぐけ絶壁とけ
 ぐりて海よ入りてぬぎ死しより豚と飼
 のども逃げ町と田舎よそのいひて人ぐ
 そのありていひていひて耶穌よ救れ
 惡鬼のしぎよいひていひて人か衣服とてた

なみちのやまに坐し居ておぼえはくはるの
こゝを見よ。この悪鬼よりつれもこのこ
とをのこしよ。おぼえはくはるも。耶穌よその境を
つらとせよ。おぼえはくはるも。耶穌舟よのこしよ。
悪鬼よりつれも。このこゝをよめよ。あるこ
とをのこしよ。おぼえはくはるも。耶穌よその境を
つらとせよ。おぼえはくはるも。耶穌舟よのこしよ。
けり。汝の家と家内のものよ。おぼえはくはるも。主のなんぢ
よ。おぼえはくはるも。おぼえはくはるも。汝をよめよ。
おぼえはくはるも。おぼえはくはるも。耶穌のなんぢ

ふおちたり大なる^二デカポリス^一のピルサミ
人ぐ^二あむろ^一あけり^二耶穌舟^一のつてまゝ海^二
あな^二こり^一と^二大勢^一の人ぐ^二あけり^一
けれバ耶穌海^二ち^一あり^二視哉會堂^一のつてヤイル
と^二人^一こり耶穌と^二その足^一のふ^二あり^一
ら^二あけり^一く^二あむろ^一あむろ^二あむろ^一死
か^二あむろ^一あむろ^二あむろ^一あむろ^二あむろ^一
て^二あむろ^一あむろ^二あむろ^一あむろ^二あむろ^一
と^二あむろ^一あむろ^二あむろ^一あむろ^二あむろ^一
と^二あむろ^一あむろ^二あむろ^一あむろ^二あむろ^一

五

いけらハ汝^{キミ}のむさめさるゝ死^シなりなんぞまゝ師^シよ苦
勞^{ロウ}とるひや^ニ 耶穌^{キリスト}の^ニ 會堂^{カイドウ}の
つゝたにいけらハもさるゝなれ^ニ 信仰^{シンギョウ}と^ニ 耶穌^{キリスト}へ
テロとヤコブの兄弟^{ケイテイ}ヨハンの^ニ 會堂^{カイドウ}の^ニ 家^カへ
よ^ニ 會堂^{カイドウ}の^ニ 家^カへ入^イて
な^ニ 歎^{ナガメ}と泣^{ナミ}と^ニ 入^イて
も^ニ いけらハなんぞ^ニ 騷^{サカシ}ら^ニ 娘^メ子^コハ死^シ
と^ニ あ^ニ 耶穌^{キリスト}とあ^ニ
と^ニ 耶穌^{キリスト}とあ^ニ
と^ニ 耶穌^{キリスト}とあ^ニ

母にたり、
 の
 いひたりタリタクとこれと譯されば、
 おとこは義なり、
 めり、
 おとこは、
 物とありと命なり

第六章

耶穌イエスはさうしてさうとよいてひもとバサの門徒ドナ
もれはさうのひより安息日サバトとなりて會堂シナゴガうて
さうめいれバサく人ぐあやみでこのことハ
いづよりこの人ひとはあつかうさうなるにあらざる彼
の事ことをなすとさうは彼かれはさう——智慧チカサくたふ
ぞやミれハミリアの子こして大工ダイクはあさうやれハ
ヤコブヨセユダとシモンの兄弟ケイテイはあさうやその姉妹イモエ
もさうなれはさうにあらざるやうにて人ぐあ
耶穌イエスのいふは狼狽ロウタイなり耶穌イエスはさういひけるハ

預言者^{イザヤ}はその故郷^{ナザレ}においてその親屬^{イサカ}とその家の外^カ
 尊^{トウ}まれらるゝのや^五。さういふのは、その半^ハど^リの
 て^{イサカ}の外^カさういふやうなるいふやうな事^{コト}であ
 る。さういふの信^{シン}せらるゝとあや^アに^ニじ^ジと
 め^メづ^づて^テや^ヤ。耶穌^{イエス}十二^{ジュニ}の門徒^{モンテ}とよびて^ヨま^マと
 二^ニ人^{ニン}づ^づと^トさ^サう^ウい^イふ^フや^ヤ。め^メ惡鬼^{アクキ}とい^イひ^ヒい^イふ^フその權威^{ケンイ}と
 う^ウい^イふ^フは^ハ旅^リの用意^{ヨウイ}は杖^{ジョウ}一本^{イツポン}の
 う^ウい^イふ^フ旅袋^{リサイ}も食物^{ショクモノ}も^モ胴卷^{ドウマキ}は金^{カネ}もな^ナも持^モ
 づ^づい^イふ^フ草履^{ゾウリ}とく^クさ^サう^ウの衣^イとく^クな^ナれ

命^{いのち}づけり⁺さ⁺い⁺ま⁺ら⁺ふ⁺い⁺ひ⁺け⁺る⁺何^{なん}處^{ところ}も⁺人^{ひと}
の家^{いへ}も⁺入^いら⁺ば⁺そ⁺の⁺さ⁺ら⁺り⁺と⁺去^さゆ⁺で⁺い⁺そ⁺こ⁺ふ⁺と⁺れ⁺
ず⁺い⁺ぢ⁺も⁺と⁺汝^{なんぢ}ら⁺も⁺う⁺つ⁺ぢ⁺ぞ⁺汝^{なんぢ}ら⁺も⁺い⁺ふ⁺る⁺も⁺の⁺
お⁺い⁺そ⁺の⁺と⁺ろ⁺と⁺去^さゆ⁺い⁺ふ⁺る⁺に⁺證^{しるし}據^{こたへ}の⁺め⁺
は⁺汝^{なんぢ}ら⁺の⁺足^{あし}の⁺下^{した}の⁺塵^{ちり}と⁺さ⁺ら⁺り⁺に⁺り⁺れ⁺汝^{なんぢ}ら⁺も⁺
つ⁺ぐ⁺ん⁺審^さ判^{はん}の⁺日^ひも⁺ソ⁺ド⁺マ⁺と⁺ゴ⁺モ⁺ラ⁺の⁺刑^{けい}い⁺ふ⁺の⁺邑^{むら}も⁺
ア⁺な⁺ら⁺や⁺さ⁺ら⁺る⁺づ⁺一⁺十⁺二⁺の⁺門^{かど}徒^たい⁺ぞ⁺人^{ひと}ぐ⁺も⁺悔^く
改^{あらたむ}づ⁺い⁺ふ⁺と⁺説^{とく}ひ⁺ら⁺め⁺一⁺ま⁺い⁺お⁺ろ⁺く⁺の⁺惡^{あく}鬼^{おに}と⁺お⁺ひ
い⁺ぢ⁺も⁺く⁺の⁺病^{やま}い⁺ふ⁺の⁺は⁺膏^{あぶら}油^{あぶら}と⁺い⁺ひ⁺て

いせり^古 耶穌の名ひらけられバ王の^王ロデスこれ
とていひけるハ洗禮^{えんみ}となせヨハ子なるがく
それゆゑにふしなるものなりある人^ま
ことハエリヤスありといふハ預言者^{よげんや}なり預
言者^{げんや}のひとりのもはふ^まへロデスこととて
いひけるハ首刎^{くびきり}ヨハ子なりこれのみ
づからもめて^まへロデスに入るとヨハ子
して牢屋^{ろうや}よめざれへロデヤスといふその
兄弟^{あにいむ}ヒリッホの妻^{つま}のこなたなりといふとあれバ

ヘロデスよめとんかゝと娶けり。ヨハニ子ヘロデスよ女
兄弟の妻とて。こゝろ。いひ。故。
ヘロデスよ。ふ。み。含。と。う。と。う。と。
も。あ。い。う。り。ヘロデスヨハニ子と義。て。且
善。人。と。あ。つ。て。お。れ。こ。と。あ。い。う。と。う。と。う。と。彼
の。お。り。の。教。と。あ。つ。て。お。り。の。こ。と。あ。い。う。と。う。と。う。と。
感。服。て。い。う。と。う。と。う。と。日。到。來。て。ヘロデス。その
誕。生。日。よ。諸。大。臣。千。夫。長。あ。い。う。と。う。と。う。と。ガ。リ。ラ。ヤ。の。あ。い。う。と。う。と。う。と。
と。う。と。う。と。う。と。う。と。う。と。ヘロデヤスの。あ。い。う。と。う。と。う。と。

坐上（さうじやう）より入りて坐（ま）す。ロテスと座（ま）はあつ人（ひと）ぐと
 り。その女（むすめ）子（こ）はひける。汝（なんぢ）が欲（ほつ）る
 のハなほよそ我（われ）は神（かみ）がよそ。汝（なんぢ）はあつ。よべ
 三。いふに誓（ちか）言（ご）て汝（なんぢ）はよそ欲（ほつ）る。のハは領（りやう）分（ぶん）の
 半（はん）より。汝（なんぢ）はあつ。よべ。四。むすめはあつ。その
 母（はは）は何（なん）とわづらひける。母（はは）はあつ。洗（せん）禮（らい）と
 なほヨハ子（よはこ）の首（くび）と。五。むすめはあつ。ちふいそ。王（きう）は
 り。洗（せん）禮（らい）と。ヨハ子（よはこ）の首（くび）と。盆（ぼん）はのせ
 て。よふ。ふ。され。な。あつ。と。欲（ほつ）る。な。つ。と。い。つ。り

王^{ミカド}より憂^{うれ}げもする誓^{ちか}言^ご且^{かつ}同^{どう}席^{せき}のめ^めのゆゑよ
それとさむむと欲^ほせども
うつヨハンの首^{くび}とめらるゝと命^{いのち}トけし人^{ひと}彼^か
ゆゑ牢^{ろう}屋^やよおいてそれと首^{くび}より元^{もと}その首^{くび}と
盆^{ぼん}よのせめらるゝて女^{むすめ}子^こよあはば女^{むすめ}子^ここ
ととその母^{はは}よあはるゝ元^{もと}ヨハンの門^{かど}徒^たよのこ
聞^{きこ}えりてその屍^{しな}より墓^{かぶ}よるゝむつゝり^みさ
使^し徒^た耶^や穌^そよあつたりてなむと
ととてくまはるゝなり^{なり}耶^や穌^そよりにいひける

汝らと人ぐとあひて淋^{しみ}らるるにやとあひて
 休息^{きゅうしき}せんといふれ往來^{りうらい}するものありて食事^{しょじ}の
 ひもなひればなり^三 是^{こゝ}よりあひて舟^{ふね}とてさぐり
 たりとありとゆかり^三 人^{ひと}ぐとあひての^{こゝ}と見^みえ
 く耶穌とあひて邑^やくより歩行^{かち}してが^{こゝ}なり
 たり彼らより先^{さき}より耶穌とあひたりとあり
 耶穌^{イエス}と人^{ひと}ぐとあひてありと見^みえその牧^{ぼく}の
 なり羊^{ひつ}の^{こゝ}なりとありとありとありとあり
 ありとありとありとありとありとありとあり
 ありとありとありとありとありとありとあり

よきとてその門徒れよとていひける
人なむとて時もおそく人ぐ
食物なむとて自分食物
と買ふあはりの邑くよとて人耶
稣とて食物とあふといひける
門徒れよとて銀二百とて
餅と買ふわらの食物よとて
いひける餅とてあるやとて
ちりて五つと魚二つなりとて
耶穌よとて

人ぐと青草のうへに組くゝて坐せり。と命
けられ。百人或ハ五十人づゝ並て坐せり。四 耶穌その
五の餅と二の魚とをとり天とあり。謝て餅と二の魚と
つゝ。とあり。門徒とあり。とあり。の魚と
人ぐと。とあり。人ぐと。食て飽けり。
のうへに餅と魚のくゝとあり。十二の籠に
みせり。四 餅と食せり。のあり。五千人なり。
五 ちよ。耶穌自今ハ人ぐと。とあり。門徒と
ちよ。舟のあり。とあり。ツサイタ。

ふりてあり^{四六} 船ハ海^{四七}のなふあり耶穌のり
ふり^{四七} 日^{四七}くれし 船ハ海^{四七}のなふあり耶穌のり
ふり^{四七} 風^{四七}逆^{四七}ふりてあり耶穌のり
ふり^{四七} 曉^{四七}しつ時^{四七}ふり耶穌海上とあり
ふり^{四七} 過^{四七}んとあり 門徒^{四七}れが海上と
あり^{四七} 變化^{四七}のものとありてふり^{五十一} 耶穌
門徒^{四七}ふりてあり 船ハ海^{四七}のなふあり耶穌のり
耶穌のり^{四七} 船^{四七}のなふあり耶穌のり
あり^{五十一} 耶穌船^{四七}のなふあり 風^{四七}やあり

心中こころうちにさういふおかしな事ことが起おこつた。その
 ろ鈍どんくして蒸餅じやうびんのやうなものを食たべた。
 たり五二とあつた。さうしてゲ子サレといふ地ちより
 て舟ふねをとりさう五四まゝ舟ふねをとりさう五四まゝ舟ふねを
 耶穌とちうて五五あつた。そのあつた土地とちとは
 て耶穌のあるところとさういふて卧床ふしどのまゝ
 て病やまひのものとさういふて一五六つと耶穌のい
 るところあるいハ邑むらあるいハ城下じやうかあるいハ在ある
 病やまひのものとさう市場いちばとさうその衣いのさういふて

押おしらせたまふと彼かれははすくなくつたふりなりと
ののひふふいそつり

第七章

パリサイの人ひととエロウリママよりある學者がくしや
ども耶穌イエスはあつちよりそつちの門徒かどのつちよ
つちの手てをあらちあら手てを餅もちと食たふら
とそつちのつちよりそつちの
人ひととユダヤユダヤの人ひとより古ふる人のつちより
てその手てをあらちあら食たふら市いち

くらひければあふむれは食せむさうやふ杯碗鍋
 膳とあふむれは食せむさうやふ杯碗鍋
 サイの人と學者ども耶穌よとひけるは汝のて
 古人のいひつゝよとふむれは食せむさうやふ
 と食せむさうやふ耶穌よとひけるは汝のて
 けるはエサヤく偽善者のなんぢらと指てよく預
 言せりそのちのちねーにふの民ハロウとて
 くらひければあふむれは食せむさうやふ杯碗鍋
 くらひければあふむれは食せむさうやふ杯碗鍋
 くらひければあふむれは食せむさうやふ杯碗鍋

5-5

供物^{たぐひ}なり[±] ちんば^{かんぢ} 汝^{なんぢ}ら^らの父^{ちち}あるひその母^{はは}と
 扶助^{たすけ}せらるゝとす[±] ちんば^{かんぢ} 汝^{なんぢ}ら^らがと[±]

一とろのつとよりて神かみのいふとむかへ

ちのさくしんせう
ちんせう
耶穌

人々
ぐとぶて
きくよひかるの銘めい
をきこふに聞きこて

五
 人のきりぎりすはるのく人といふを

てふあそびでちやうど人づからとちのあそび

人^のと汚^いものなり^共耳^をありてとらゆめの人

とて
ベシ
耶穌人
ぐ
よ
あ
て
家
よ
入
よ
その

門徒^でも（さういふ）にあらざらん女^{めづ}ら
もさういふにあらざらん女^{めづ}より人^{ひと}
よりさういふにあらざらん女^{めづ}より人^{ひと}
らさういふにあらざらん女^{めづ}より人^{ひと}
腹^{はら}よりさういふにあらざらん女^{めづ}より人^{ひと}
いひける人^{ひと}よりさういふにあらざらん女^{めづ}より人^{ひと}
いふにあらざらん女^{めづ}より人^{ひと}
偽^{いつはり}計^{けい}好色^{こうしき}疾視^{しつし}惡口^{あくこう}高慢^{こうまん}癡^ち
人のさういふにあらざらん女^{めづ}より人^{ひと}

けりて人々を驚かすものなり^{二四} 耶穌^{二五}も驚かして
 口と^{二六}シト^{二七}の言ひよ入家よんて人々を驚かす
 欲^{二八}されば^{二九}かれえり^{三〇}——^{三一} 惡鬼^{三二}
 とりて^{三三}——^{三四} 驚かすものなり^{三五}
 の^{三六}——^{三七} 驚かすものなり^{三八}
 けり^{三九}サイロ^{四〇}ニヤ^{四一}——^{四二} 子^{四三}の^{四四}もの^{四五}なり^{四六}
 けり^{四七}も^{四八}め^{四九}の^{五〇}惡鬼^{五一}と^{五二}なり^{五三}——^{五四} 耶穌^{五五}
 驚^{五六}けり^{五七}も^{五八}耶穌^{五九}——^{六〇} 小兒^{六一}も^{六二}飽^{六三}
 けり^{六四}——^{六五} 子^{六六}の^{六七}餅^{六八}と^{六九}りて^{七〇}犬^{七一}

なづかひなくしきとんもくへんをひらき
主ちうりなれどもたいの下したの犬いぬよきも小兒こどもの食け質しつと
食けと元もと耶穌とんふよりひらきふりて
かまあ惡鬼あくおにと汝みづかのむきめよりいづるきとんふその
家いへよかまあ惡鬼あくおにとぞふりぞむきめハ床とこよふりた
るととりき耶穌ときタイロときビドきのさしと去い
てテカボリスのさしとさしガリラヤの海うみよつ
けりき人ひとぐき聾さうとき訥者とつしやと耶穌ときときときとき
とこれよつきたとととととき耶穌ときと人ひとぐ

[illegible]

第八章

そのころあつまる人ぐさあつてゐるやうな
食物もなうけよば耶穌その門徒よりひて
けらハ、このあつくる人ぐさあつてゐるやう
なれども三日つれとらふもなうけよば、
なうけ食物なうけも一飢してその家より
途中よりわんそのうちよ遠地より
のあつたなり、その門徒よりひてゐるやう
人ぐさあつてゐるやう何處より餅とえてこの人ぐ

第八章

と飽^あきむや^五耶穌^{イエス}もく^六ふ^七ひ^八ば^九ハ餅^{パン}いくつあるや
七^十と^{十一}り^{十二}耶穌^{イエス}人^{ひと}ぐ^{十三}は命^{いのち}じて地^ちに坐^ませ^{十四}め^{十五}七^{十六}の餅^{パン}と
と^{十七}り^{十八}謝^{あがな}して擘^{ちぎ}人^{ひと}ぐ^{十九}の^{二十}も^{二十一}は^{二十二}く^{二十三}た^{二十四}あ^{二十五}ふ^{二十六}その門徒^{かど}に
あ^{二十七}く^{二十八}ば^{二十九}ま^{三十}じ^{三十一}る^{三十二}も^{三十三}ち^{三十四}人^{ひと}ぐ^{三十五}の^{三十六}ま^{三十七}は^{三十八}い^{三十九}れ^{四十}ば^{四十一}あ^{四十二}ひ^{四十三}り^{四十四}て
ま^{四十五}じ^{四十六}る^{四十七}の^{四十八}小^こい^い魚^{うしほ}と^{四十九}の^{五十}り^{五十一}祝^{いのち}して^{五十二}ら^{五十三}ぬ^{五十四}や^{五十五}い^{五十六}人^{ひと}ぐ^{五十七}
の^{五十八}も^{五十九}は^{六十}ま^{六十一}じ^{六十二}る^{六十三}と^{六十四}り^{六十五}ハ^{六十六}ま^{六十七}じ^{六十八}バ^{六十九}人^{ひと}ぐ^{七十}食^たて^{七十一}飽^あき^{七十二}七^{七十三}籠^{かご}に
どの^{七十四}の^{七十五}り^{七十六}ハ^{七十七}餘^{あま}屑^{くず}と^{七十八}ひ^{七十九}ろ^{八十}ひ^{八十一}ハ^{八十二}食^たせ^{八十三}ら^{八十四}る^{八十五}の^{八十六}人^{ひと}ぐ^{八十七}
と^{八十八}り^{八十九}そ^{九十}四^{四十}十^十人^{にん}ハ^{九十一}り^{九十二}ハ^{九十三}耶穌^{イエス}れ^{九十四}と^{九十五}り^{九十六}せ^{九十七}ら^{九十八}ハ^{九十九}耶穌^{イエス}と^百
ち^{百一}ふ^{百二}そ^{百三}の^{百四}門^{かど}徒^だと^{百五}り^{百六}ハ^{百七}ま^{百八}じ^{百九}る^{百十}舟^{ふね}に^{百十一}の^{百十二}り^{百十三}て^{百十四}タル^{タル}マ^マヌ^ヌタ^タの^{百十五}り^{百十六}に^{百十七}

いふはパリサイの人出れ議論とていひてこれとて
ろくろふ天のりの休徴とていひて^主耶穌心中ふ
く歎息とていひけるはこの世の人なんぞあつとて
ひるやまにこれ汝らよつぐんち^{かんち}はるの世の人
あつとていふめど^主耶穌とてとてなれとて
舟のりじふとてこれとて門徒^で餅とてとて
とて舟のりの餅のやうあつとて^主耶穌とて
いふめていひけるは氣とてとてパリサイの人の煎餅
酵とてロデの餅^でねとてとて^主門徒^でなつひ

議してひひるこれとて餅をめぐりて
耶穌これとてめぐりてひひるはなまよひえよ汝
ら餅のなまよひと議あやむこぞとてめぐりて
汝らのなまよひとてめぐりてめぐりて見えや
耳ありてめぐりてめぐりてめぐりて五
千人は五の餅とてめぐりて一
時餘屑の籠くめぐりて拾
門徒ひひるは十二なりて四千人は七の餅とて擘あ
時餘屑の籠くめぐりて拾
や門徒ひひるは七なり
耶穌彼
らにひひる何とてや
耶穌ベツサイダ
ー

ふへぐはしは警者^{めく}よりいふなりは手よりし
なまへと祓ぐひより^三耶穌めくへの手よりして邑^{むら}の
そよよのしきぞその目^めは眼^めと手とそののり
よもいふなりはきこひに^三きこひに^三きこひに^三きこひに^三
あがてりひるはれんぐのあぐとらるゝ木のこ
と^三ひよ耶穌と^三兩手^{めく}と^三れの目^めは^三きこひに^三
とあがてりひるはれんぐのあぐとらるゝ木のこ
らふに^三きこひに^三きこひに^三きこひに^三きこひに^三
邑^{むら}も入なれしむのいふなりは手よりし

いふ^モ 耶穌その門徒^デとピリツポのカイサレヤといふむ
 うく^モ 途中^{トウチュウ}そそその門徒^デよふていひ^ハ
 人^{ヒト}ぐれといれといふる^ハ天^{テン}く^ハける^ハ洗禮^{センギ}ゆるヨハ子^ハ
 ある人^{ヒト}ハエリヤある^ハ人^{ヒト}ハ預言者^{ヨゲンシャ}のひとりといふ^ハ
 耶穌^{イエス}めら^ハいひける^ハ汝^{カミナ}ら^ハこれといれといふ^ハテロ
 うていひける^ハあな^ハキリシトヤ^ハ耶穌め^ハのれ
 の^ハいふ^ハわ^ハもか^ハく^ハぎ^ハと^ハわ^ハら^ハみ^ハ禁^{キン}ぜ^ハ
 ち^ハ人^{ヒト}の子^ハも^ハの^ハく^ハみ^ハよう^ハに長老祭司^{チョウロウジシ}の
 長士子^{チョウシシ}ども^ハを^ハて^ハられ^ハ且^ハろ^ハろ^ハされて^ハ三日^{サンニチ}め^ハ復生^{フクセイ}

30

とあつた。その人、それとて、うーなまへにさぶらふ。い
福音のいふよおのれが、いのちをうーなまへにのハ、あ
らうれたまへ、うーいんとなれば、人が世界中を
まうける。そのあつた、うーなまへ、なんの益
あへんや。且、その人、なまへ、そのいのち、よかえ
や。あつた、よお、そのあつた、悪悪なる世、よお、い
う、そのあつた、清く使へ、その
その父の光明、そのあつた、そのあつた、そのあつた、
そのあつた、そのあつた、そのあつた、そのあつた、

第九章

耶穌もいかにくんにいひけるハ、これこそは汝ら
よつぐんをふくむものなり。神の國權威をも
つて、いかにみらるるもので死にむるものあり。さて
六日のうち耶穌ペテロヤコブヨハネ子とといふがよみて
いふものなり。山に連のなり。いふものなり。
すなはちいふものありて、その衣服が、やう雪の
ごとく、いとあつ。世界の布さうもかくあつ。
く成あつ。エリヤとモーセが、いふものあり。

て耶穌と云ふにかゝつてよきものなり五ペテロに於て耶穌
はひびけるハ夫子の御前に坐するを以て之れに
三の廬といハ主のおまへモーセのまへエリアの
おあつたところめだましけれステコロニアと云ふやうな
いんとなればかもしうとおそれぬえなるがごとく雲
の中でおろしの聲雲よりいでしひびけるハこれこそ
我が愛子なり汝らわれよくぞ一門徒として居るべし
ち見ゆるとして耶穌とのりのりひもみえざらん

九山と云ふことば耶穌門徒よ人の子よみざる

あり
三
れども
れ
汝ら
ふ
げん
エリ
ア
も
は
る
ふ

られとなげたるやうな者なり。彼ハ泡と云ふものなり。齒
ちうとてつれなるなり。我らと云ふものなり。と
と主の門徒と云ふものなり。彼らと云ふものなり。と
穌と云ふものなり。と云ふものなり。と云ふものなり。と
何時^いまでもつれ^な汝ら^{なんぢ}と云ふものなり。と云ふものなり。と
ひんぢらふ^{おの}忍^{しの}ぐんや彼と云ふものなり。と云ふものなり。と
その子と云ふものなり。と云ふものなり。と云ふものなり。と
られと云ふものなり。と云ふものなり。と云ふものなり。と
と云ふものなり。と云ふものなり。と云ふものなり。と
と云ふものなり。と云ふものなり。と云ふものなり。と

なるや父^ちのいひけるにまゝ時^{とき}よりなり^ニちぞ
 られとらるゑんとも火のなつち水はなづより
 も貴君^{めがき}何^{なん}ぞとみよくなむとあるれみそれ
 らとぞいひけなむ^ニ耶穌^{イエス}のいひけるに汝^{なれ}も信^{しん}
 ぜらば信^{しん}ぜぬのよといへ何^{なん}ぞとみよとく
 なむ^ニ耶穌^{イエス}のなり^ニち子の父^{ちち}のいひけるに
 だといへといひけるに主^もやれ信^{しん}ぜらば信^{しん}なむとた
 ぞいひけるに^ニ耶穌^{イエス}人^{ひと}の走^{はし}よりあるとて惡^{あく}
 鬼^{おに}とみよといひけるに暗^{くら}い^ニ聾^{ろう}なる惡^{あく}鬼^{おに}と我^{われ}

汝^{みづか}よ命^{いのち}をえとぞ。さへびききは入^{いれ}り。惡鬼^{あくおに}
さへんてちやひふまはしむらむせいで。よかれ
死^ししうりとくちどふ彼^{かれ}死^しるものごとくなむなり。^モ
耶穌手^てとりておこしけ建^たばなら。耶穌家^{イエス}より
ふその門徒^でひそふとひりハコねくのあのを
おひぎしあいにあらハなふゆゑぞや。^元耶穌のひりて
祈禱^{いのち}と斷食^{だんとく}よありされバ、そのたぐひいつづ
ど^三カミくろくとさうでガリラヤとあり。耶穌も
そめいよくぞくちむらつとい^三くふとなれば、その門徒^で

ちていける人の子人ぐの手はさるゝ
 られと殺さるゝれてのち三日めよみまゐるゝ
 門徒も門徒のいふこと問ふこと
 耶穌カペナオムといふ家より出て門徒
 ちける汝ら途中よそなふといふ議論せよ
 門徒黙然たりこれ途中よそなふ長づくとた
 議論さればなり耶穌坐しその十二といふ
 てかきいけるもいふとさるゝのハ
 諸人のすゑに諸人のいふなるべし童子と

ところへて彼等のなまじりてにあらざるをば彼ら
 いひけるハモアそらの名よりてかきぬきぬ
 いらの童子よりぬきぬにあらざるをば彼ら
 おもひてぬきぬぬにあらざるをば彼ら
 あらざるをばぬきぬぬにあらざるをば
 ぬきぬぬにあらざるをばぬきぬぬにあらざる者
 かおん名よりて惡鬼とあらざるをばぬきぬ
 とあらざるをばぬきぬに禁ぜし耶穌
 人といふにあらざるをばぬきぬにあらざる

ゴムにやうなやうなハカ
 ちのふあゝと^四そ^五れらは敵拒^{てきこ}やうのハカ
 くれはく^六のな^七う^八いふとな^九れバ汝^{なんぢ}らキリント
 屬^{ぞく}するものなるゆゑとて名^なふより一杯の水^{いちぱいすい}
 と汝^{なんぢ}ら^{一〇}飲^{のみ}するものハこれとて汝^{なんぢ}ら^{一一}ようげんその人^{ひと}
 と報^{むく}と^{一二}う^{一三}な^{一四}とて^{一五}う^{一六}な^{一七}とて^{一八}これと信^{しん}ぜ
 小^{ちひ}さのいふとやとてそのよく磨^い白^{はく}と^{一九}その首^{くび}
 ようけ^{二〇}海^{うみ}な^{二一}け^{二二}と^{二三}う^{二四}と^{二五}そのもの
 尤^{もつと}も^{二六}い^{二七}ふ^{二八}ハ^{二九}も^{三〇}汝^{なんぢ}の片手^{かたて}なんぢとやとて^{三一}バ

三

中々

第十章

ひのうちふくふ、大勢おほせの人ひとぐも、彼かれよあまにう

つねのふくまにあらうと教へ—パリサイの人らより彼
とちろみんとて人々の妻といふをばいふ—いふやとちひ
ひとばいふていひけるハモーセハ汝らふなむと命ぜりや彼
らひけるハモーセハ離縁状とていふとていふとてと
ゆえ—五耶穌とていふにいひけるハモーセ汝らの薄
情なるふりて人の掟とかいふりあるれども開闢の
ころめ神人と男女とつくりしこのゆゑは人ハその父
母とちろれその妻とて二人ハひとつら一体
なるべしとて猶ふらよあるとて—一体なる故

神カミのそとにさういふものゝ人ヒトにあらざらん
 ぞ⁺家イヘにおいて門徒カドシといふものひびく⁺まは
 よひひきぬそその妻ウメといふてその女メとめら
 ぬそのとんぶ+女メ淫ニとちるものなり⁺まゝ
 とんぶその夫ウツといふてうふ嫁カメぐあふこの女メ淫ニと
 ちるなり⁺人ヒトぐ耶穌イエスといふせんて小兒コドモとつ
 てもう⁺門徒カドシといふものといふ⁺め
 う⁺耶穌イエスといふていうとみか⁺にひびく
 小兒コドモのふれといふてこれといふあらん

五

の證據とていふれ掠奪せられ汝の父母とていふる
かこころをいひける師やられいふるなほ時よりこころ
をいふるに耶穌とていふるに汝の父とていふるに
汝一つとていふるに往け所持のものを賣てまづこころをいふる
をいふるに天よおとて財をいふるにこころをいふる
に十字架とていふるにこころをいふるにこころをいふる
よつて憂ひがあるにこころをいふるにこころをいふるに大
なる身代とていふるにこころをいふるにこころをいふるに
門徒といひけるに富みの神の國よこころをいふるに

第二卷

よきつう元耶穌こころにけりいさよにされ
 よつぐんれ福音のこゝに家あるひ兄弟あるひ姉
 妹あるひ父あるひ母あるひ妻あるひ子どもあるひ
 田畑とどきめく幸いよこの世よといて百倍うけざる
 のなりよふくら家兄弟姉妹母子ども田畑くらみ
 とよにけりこの世よかぎりなきいのちとなく
 べー^三えー^三なぐくおろくの先のものハ後^{あと}よなり後の
 のハ先^{さき}よなるべー^三さき^三エロソルマよのち
 と途中^{ちゆうちゆう}よ耶穌門徒^{でい}よとていふにけれど

57

十人の門徒^四とめてきてヤコブとヨハネ子といふ二人を
耶穌^四もつとよびてシバの異國人^四の上へお
もひのハこれと領^四し長^四のこもくねと支
配^四を汝^四らのうちよハあそびかいてゐたまは
汝^四らのうちふ長^四とあつせよハ汝^四らふつと
のこもくね^四と汝^四らのうちふ長^四となんと
あつせよハあそびのこもくねとなんと
人の子も人よりうまいあふふと却て人
よりおろくの人はかゝりて命^四をあつてつくなふ

へあなり^{四六}エリコ^{四七}にあり耶穌門徒^{四八}とありひ
 なる群集^{四九}の入りとエリコ^{五〇}とエリコ^{五一}の入り
 めらるバルテマイ^{五二}みちのうに座^{五三}してをける^{五四}ナザレ
 の耶穌なりとてよむる^{五五}ありていひけるダビデ
 の子耶穌よそれとあれみ^{五六}おりの入り
 られよ^{五七}それといふ^{五八}めける^{五九}ありて^{六〇}ダビデの子
 よそれとあれ^{六一}とよむる^{六二}ありて^{六三}バ^{六四}耶穌^{六五}徒^{六六}で
 られよ^{六七}と命^{六八}づけられ^{六九}入りとよむる^{七〇}びて^{七一}れ
 いひける^{七二}安心^{七三}せよ^{七四}起て耶穌^{七五}汝^{七六}とよむ^{七七}めらる^{七八}その

外套とせうだちで耶穌よこり^ニ耶穌ふつてかこい
 ひける^{コト}汝よなふとなもとあがいかめくひける
 主よみえとらへく^ニ耶穌もふりひける^ニ汝
 汝の信仰汝をいそげりふれみえよう^ニ耶穌
 穌よみちよあがけり

第十一章

かまうエロソルマよりちづと橄欖山のベツパギとベタニヤ
よすると耶穌より門徒とつていふ
ひける汝らの對面村よいそむくにいふちよ人の

515

樹をてその木はなりあるやしてこれに
 て葉のやふやうなるものなりこれ無花果の
 木なりさればなり耶穌をてこの木は此のち長女
 果とくふ人あるものなり門徒これとて
 まかきエロソルマより耶穌神殿よりて賣買
 のを神殿よりおいとめて兒錢者の案牘
 のもの椅子とたて且これをも器として神
 殿とてやるとあるものなりとてこれに
 家ハ萬國人の祈禱の家となつてこれ

ふあゝぢやうとを汝^{なんぢ}られと盜賊^{どく}の巢窟^{そうくつ}とせ
せり士^し子^こ祭司^{さし}の長^{なが}れとせりて耶穌^{イエス}と
ろろぢやうとを汝^{なんぢ}られとせりて耶穌^{イエス}と
耶穌^{イエス}のよはをせりて耶穌^{イエス}と
おそれバヤ^{バヤ}り^り日^ひ暮^{くれ}て耶穌^{イエス}城^{じやう}下^かとせりて耶穌^{イエス}と
翌朝^{あした}かもし通^{とほ}りて無花果^{むけちかく}の根^ねよりおそとせり
テロ^{テロ}おそりて耶穌^{イエス}とせりて耶穌^{イエス}と
ろろの無花果^{むけちかく}をせりて耶穌^{イエス}と
ろろ神^{かみ}と信^{しん}ぜりて汝^{なんぢ}られとせりて耶穌^{イエス}と

より耶穌神殿よあつた人々をさへも祭司のよき士子お
よび長老どもがまじりていふべきほどの權威
をもちていふことをせよとせよとせよとせよと
たあふれが汝らよの權威をあらうや耶穌をて
わくにいひける我もさいひの汝らといふこと
あり汝らなるもの權威をあらうものとな
せよとせよとヨハニ子の洗禮ハ天より人よりあり
し我らよとせよとせよとたぐひよ論じていひける
とせよとせよと天よりいふれなるものヨハニ子

と信ぜぬやいけん^三 何して人よりいふやうなる民と
 おそろふやうなれば民みもヨハ子と實の預言者よて
 あういふやうなやう^三 何して耶穌よいふやうな
 ところ耶穌よいふやうなところなるもの權
 威とゆふやうなやうなやうなやうなやうなやうな

第十二章

耶穌よいふやうなやうなやうなやうなやうなやうな
 葡萄園とつくりやうなやうなやうなやうなやうな
 一塔とて農夫よいふやうな旅立ち
 期よいふやうな

農夫より葡萄ぐいばの果實とてけりてんふた
僕と農夫のいふていふに農夫とてれと
とむらむらとむらむらとけりけりけり
僕と農夫といふていふに農夫といふていふに石とて
ちの首とていふていふに取とていふていふに五とていふ
のいふていふにいふていふにいふていふにいふていふ
くつとていふにいふていふにいふていふにいふていふ
いふていふにいふていふにいふていふにいふていふ
なるていふにいふていふにいふていふにいふていふ

ていふやうな農夫だといひた
るに嗣子^{しき}がうでこれとらむは家督^{けとく}
をあらふあるとていふて葡萄^{ぶどう}
のそのとていふとれ葡萄^{ぶどう}の主^{あか}
となすもさうして農夫^{のうふ}ともう
葡萄^{ぶどう}ぐりとり人のとていふ工師^{こうし}の
石^{いし}の屋^やの隅^{すみ}の首^{くび}石^{いし}とていふ
主^ものなりたる
ていふやうな目^めとていふやうな
とていふやうな自分^{おのれ}

耶穌その實ぢからゝるゝとやなりてりまゝにいひ

けふなんぞこれといふにやデナリオとあるにや
 てこれよみせよとわかれしにや耶穌は
 いひけるに誰の面と號ぞやとカイサルのなり
 とするま耶穌うてカイサルのものハカイサルより
 こそ神のものと神よりこそとといひけるにや
 いそやとせりてさういふにやと
 サドカイの人耶穌よりていひけるハナ師ナヤナ我
 らはもいひけるに人の兄弟子なくその妻との
 うて死せられざる兄弟の妻となりて兄弟の裔

卷二十一

のやういふがうていつてハ、ミナモトの書籍、中
 の篇、神もふがうて、アブラハムの神、イサクの神
 ヤコブの神なりといひなむ、モーセ神ハ死せ
 りの神、あゝとて生るの神なりとされば、なん
ぢ大いなる學者のひとり、モーセの議論と
 して、耶穌のうへに、ふとて、知て、れふ、ひ
る、ふの、掟の、うち、ふな、と、首と、な、と、や、元、耶穌
ふ、と、ひ、ら、ふ、の、掟、の、首、ハ、イスラエル、よ、と、ひ、な、れ
らの神、主、と、な、ら、ひ、の、主、な、ら、ん、ぢ

第 一 卷

が理會らゐてゐるやうなふいひに汝神なんぢがの國くにより遠とほく
 いくののち後あとにありて耶穌イエスよそのものありて三耶
 穌イエス神かみ殿やよとゆるぎなくしてふいひにキリシトハダビデの
 子こなりと士子ししのふいひにやうやうなやうなバダビデみづ
 け聖靈せいりやうよ感かんじていひける主きみが主きみよあなごの敵てきを
 御足みそと凳ぎやうとがもとすてはらうが右みぎよ坐ませよといふ三ダビデ
 づゝと主きみにあらはなればいふとその子こならん
 やふくのふいひに悦よろこば耶穌イエスよとて二耶穌イエスをゆるう
 らふものなりけりふしんで長ながき衣服いふくしてある

市上^{いちじ}よおその問安^{もんあん}元^{えん}會堂^{くわいたう}の高坐^{かうざ}筵間^{せんま}の上坐^{じやうざ}と好^{こう}
卑^ひ娼婦^{やうふ}の家^{いへ}と押領^{おしりやう}——つらつて長^{なが}く初士子^{はつしこ}よ氣^き
とつらつねらふもおやいなつてとらふ——^四耶穌^{イエス}
寶錢庫^{ほうせんこ}よむつて堅^かまへ入^いぐ錢^{ぜい}ととらふにたげらるを
らふおやうにあらふのにおやうなげらふ^四ひまりの貧^{せい}
らふおやうにあらふて錠^{じやう}やうとなげらふ^四これハ四^し
文錢^{もんせん}ひまらよあらなう^四耶穌^{イエス}その門徒^{もんた}とよびてとら
らふらひかひにあらふ^三汝^{なんぢ}らふらふていふおやうに
やあらふなう庫^{くら}よなげらふ^三人^{ひと}ぐらうハおやう

ながいころなり置いふとたれにまじりみあそびの羨餘
 とりなりたれなりともふのそふにそのき
 うのころなりとくなくなりなりなりなりなり
 身代とつむるなりなりなり

第十三章

耶穌神殿よりづきバ門徒のひとりなりふりひけるハ師や
 みよりなり石なりいなる家屋ぞ耶穌なりといひ
 けり汝のいひなる家とさうなり石のうへは類なる石
 くのころなり耶穌橄欖山よりて神殿よりて坐

五三二

一處の所へ地震ありき飢饉騷亂あり
 けしむなりこれら艱難のどめなり汝らみづ
 つめよふとなれば汝ら評定所よりいれま
 會堂よりしらされむとて奉行と王
 の前より證據となしめふひききし
 福音ハミツて萬民より廣めぬなり
 人汝らと曳てこしとて前よりなふと
 案ト考ふるなりとて汝らふあり
 一處の所よりいれまとなれば汝らに

第一卷

のとその衣服とんふふくをばその
 子とんだと乳とのものをこゝろひならうは
 汝らの逃る冬よあやうなれ^九その
 災難の神のつくりし^{開闢}のより今い
 るやでこの世にあらざらん^今の後よあ
 主その日と減せられ^人もそくなく^のなれ
 どもえびなもく^さのえ^やれ^のい^あふ
 その日と減た^{なり}その^人汝らよ
 キリシトにありあふ^かい^あい^ふ

157

ある人のごとくその家とくめと留守居とその家僕と
やうやへぐにその事業とさづり門番と目とをまかせ
と命どればなりと申えよ汝らも目とをまかせよと
なれば家のあきかたあるひは夕あるひは夜半あ
るひは鶏鳴あるひは平旦とちかざるゆゑなりと恐ハ
不意とて汝らのわびせらるゝあんなに汝ら
よとやうやへぐにまかせらるゝみかへぐにまかせらるゝ

第十四章

さてこれより二日のち逾越し除酵餅のせしめたりて

祭司の者と學者といふもの詭計といふもの耶
 穌といふものといふものといふものといふもの
 ける民の亂のおもひよるものといふもの祭のあひ
 くるものといふものといふものといふもの
 の家といふものといふものといふもの
 くるナルトのあひくるものといふもの
 あひくるものといふものといふもの
 ちよつとといふものといふもの
 となふゆゑといふもの

のなまーもきそのかいそふさくくち

「師のさくるはらも」門徒とよぶききり「食を」し坐
るに「づくみある」といふまに「汝らふきでよそあ
く陳設」なる樓のちひなる坐を「とまき」て「さうふ
く」の「あふ」といふまに「門徒」あきて城下「さう
く」耶穌の「さく」にいひ「さく」あひ「さく」を
「さく」も「日暮」て耶穌十二と「さく」に「さく」り「さく」
坐して食を「さく」て「耶穌」の「さく」に「さく」れ「汝
らふ」に「さく」て「食を」汝らの「さく」に「さく」を
「さく」て「耶穌」の「さく」に「さく」て「一人」く耶穌「我

なるまゝのいふなりとなつて耶穌に
 してさういふひびに十二のひよりしてさういふ
 ことさういふ盃と手とりつゝのなり三人の子はこ
 こつひて録されしごとく遊ぶも一人の子とこ
 ろもこのはらへるなりある人の生れたる幸な
 るものとさういふ食とさういふ耶穌餅とさういふ祝して
 譬としていふごとくさういふ食とさういふ食とこれにさういふ
 の身體なりとさういふ杯とさういふ祝とさういふさういふ
 らにさういふと飲めとさういふさういふにさういふ

の人のあふなきとてこの新約のいのちを
ふられ汝らふつげん今よりこの世にこれとあらた
に神の國よおとて飲日までもこの葡萄より
ものともあらば歌とてて橄欖山
よいけり耶穌門徒よいひりて今夜汝ら
よふ狼狽らばてきられ牧者と撃ぐ羊散る
てとあらばてきられよみて
のら汝らふてガリラヤよいへてテロ耶穌
よいひりてよみて

耶穌^{イエス}れいひけるはまたに^{また}汝^{なんぢ}よつぎん今日^{こんにち}今夜^{こんや}
 おと鶏^{とり}やうびなぐましく汝^{なんぢ}三^{さん}びられよとてと
 といひて^三 彼^その^三 門徒^かの^三 ひとり^三 といひけるは^三 主^三
 とてふ死^しもなされハ^ハ 門徒^かの^三 ひとり^三 といひけるは^三 主^三
 も^三 おな^三 といひけるは^三 主^三 ゲツセマニ^三 といひけるは^三
 といひけるは^三 耶穌^{イエス}の^三 門徒^かの^三 ひとり^三 といひけるは^三 主^三
 といひけるは^三 主^三 坐^まやとて^三 ペテロ^三 ヤコブ^三 ヨハネ^三 といひけるは^三
 といひけるは^三 主^三 といひけるは^三 主^三 といひけるは^三 主^三 といひけるは^三
 といひけるは^三 主^三 といひけるは^三 主^三 といひけるは^三 主^三 といひけるは^三

[illegible]

5-31-

その日、汝らよ、神殿より――
聖書に應ぜむ。――
門徒も、耶穌とぞとのれ。――
の裸にして、麻の夜具とす。耶穌よ、――
捕人のものとして、――
耶穌と祭司のよ。――
祭司の夜具とす。――
テロと祭司の――
の内庭より、耶穌よ、――

五二五

[illegible]

いよいよ言ひて預言するに及ばぬ。僕等の
つていふと批ていふ。テロ下庭に居時祭司の
下婢のいふ言ひをテロの火よめいふと見
つていふ言ひのいふ言ひは汝のいふ言ひ
あり。テロ拒んでいふ言ひはこれいふ言ひ
汝のいふ言ひをいふ言ひは庭口のいふ言ひ
―究て下婢のいふ言ひをいふ言ひは
るに及ばぬ。いふ言ひは庭口のいふ言ひ
いふ言ひは庭口のいふ言ひは庭口のいふ言ひ
いふ言ひは庭口のいふ言ひは庭口のいふ言ひ

ペテロよ、ひびく汝^{きんぢ}を、こゝに、こゝに、こゝに、こゝに、こゝに、
 こゝに、こゝに、汝^{きんぢ}ハガリラヤの人^{ひと}なり。國^{くに}なるも、こ
 こに、合^あはせ、ペテロ、神^{かみ}のたよりを、こゝに、こゝに、こゝに、
 こゝに、こゝに、人^{ひと}ハ、こゝに、こゝに、こゝに、こゝに、こゝに、
 鶏^{とり}ハ、こゝに、ペテロ、耶穌^{イエス}の鶏^{とり}ハ、こゝに、こゝに、こゝに、
 三次^{さんじ}我^{われ}と、こゝに、こゝに、こゝに、こゝに、こゝに、こゝに、
 こゝに、こゝに、こゝに、こゝに、こゝに、こゝに、こゝに、こゝに、

第十五章

平^{へい}旦^{たん}、こゝに、祭司^{しよし}の、こゝに、長老^{ちやうら}學者^{がくしや}、こゝに、評^{ひやう}議^ぎ

五十二

もぐりてゐるにやうなやつであつた。そのあつたところ
 はそのひつんのともいふ人と殺せしめられた。人々が大
 聲によんで常例のさうせんとなつてうらやまを
 たらしてゐた。ユダヤ人の王とゆふと
 ともなつてゐる。これピラト祭司のともなひの娼妓と
 つて耶穌とともなひとともなひの祭司の長
 寧バラツバとゆふとともなひの民とともなひの祭司又
 うらやまをたらしてゐる。ユダヤ
 人の王とゆふとともなひの民とともなひの祭司又

第十一卷

してその首を切り、それを咄（くち）き、
 拜（ひら）せり。耶穌と嘲弄（ちょうろう）してのち紫（むらさ）の
 衣（き）を被（ひ）せり。十字架（ごうじあ）
 につかんとし、シモン（しもん）の
 アレサンデロとルラの父（ちち）田舎（いなか）よりとかり、
 一（ひと）つれづれに強（たか）てその十字架（ごうじあ）を
 負（お）せり。耶穌と
 ゴルゴタ（ごるごた）といふところへ来て、
 髑髏（むくろ）のころなり。没藥（ぼくやく）と酒（さけ）を
 和（あ）て、耶穌の
 口（くち）に挿（さ）せり。耶穌と十字架（ごうじあ）

よつらーのちその衣服とあつてなるとんと鬨と
なしてつらつらつら辰の半時つら耶穌と十字架
つらつらその罪状標ユダヤ人の王とつれつら
つらつらのあつて人といつてつらその右のつらつら左
と耶穌とつら十字架つらつらつら聖書とつれ
ハ罪犯人といふかぞつられてつらつらつら
と元往來のものといふつらつらつらつらつら
つらつらハ憶神殿とつらつらつら三日とつれとつら
つらつらつらつらつらつら十字架と下とつらつら
つらつらつらつらつらつらつらつらつらつら

—のさるが—やゝもよな—朝アサ弄アソブ—でたがひ
らひかひらひのさるがやゝもよな—
くさ—とあひ—
キリシトイスラエルの王キニギ—
て信シンぜるや—
十字架コウジツカ—
十字架コウジツカ—
の刺サシぐり来キのな—
ひりぬ—
—のさるが—
て—
—
—

高一五

マグダラのマリヤマリヤと年トシのヤコブとヨセの母ハハは
 マリヤマリヤとケロメケロメあり。これハ耶穌のガリラヤガリラヤあり。
 といふことあり。そのかゝるいふにれ
 といふエロソルエロソルマヨのガリラヤあり。祭マツルの
 設備しるしと日ヒとてあるうち安息日安息日の前日ぜんじつなり。ゆゑ
 日ヒくくあり。アリマタヤのヨセフと尊たうとと評議人ひやうぎじんあり。
 神かみの國くにとのぞむものとしてありてピラトピラトとゆゑ耶穌
 の屍しかばねとけづり。ピラト耶穌のともや死しするを
 隊長たいさうとよんでいひて死しするをよ

られと隊長よりあつてあつたねとヨセフはあつて
 布と買てうとぬとよりあつてられと布はつみ岩と
 あり—墓所はあつてあつてあつてあつてあつて
 マグダラのマリヤはヨセの母なるマリヤそのあつてあつて
 あり

第十六章

安息日あつてあつてあつてあつてあつてあつて
 サロメあつてあつてあつてあつてあつてあつて
 一七日のあつてあつてあつてあつてあつてあつて
 墓

[illegible]

[illegible]

信ぜざるも又その後十一の門徒の食さるゝとあるに
 らの信ぜざるこそ心の鈍といふにこれらが耶穌のよ
 ろろ後れといふものと信ぜぬゆゑなり耶穌のよ
 りに世界中とめらりて福音と人ごとのに主信て洗禮と
 のに救れ信ぜざるものハ罪せざる主左のちハ信ぜざるものよと
 一とあるに我名よとて惡鬼とあひいづ異なりある方言といひ又蛇と
 とも毒とのいふ害なく病のよ手とつればまをらちいづとあるに
 主彼にいふに後天よりけられ神の右に坐せり門徒普く福音とのに
 主彼にふかあるに件の奇跡とて道の徴といふなり亞孟

本書の底本としては、山梨英和短期大学「門脇文庫」所蔵本
を使用させていただきました。

近代邦訳聖書集成⑮ 新約聖書 ^{マルコ}馬可伝

1872年 原本発行
1996年8月13日 第1刷印刷
1996年8月23日 第1刷発行

J.C. ヘボン 訳

発行者 荒井秀夫
発行所 株式会社 ゆまに書房
〒101 東京都千代田区内神田2-7-6
電話 (03) 5296-0491 (代表)
振替 00140-6-63160

印刷 互惠印刷株式会社／製本 東和製本株式会社
